

令和元年度 学校評価 総合評価比較表

ポイントが上がった項目

ポイントが下がった項目

- ① A～Dは%(パーセント)を表しています。 ② ポイントは4.0が最大値で、平均は2.5です。
 ③ 評定はポイント 3.2以上がA、 3.2未満2.4以上がB、 2.4未満1.6以上がC、 1.6未満がD



評価の観点	質問項目(児:児童、保:保護者、教:教職員)		1回目(R1.7)		2回目(R2.1)	
			ポイント	評定	ポイント	評定
1 教職員の 資質向上	児	学校では、楽しくすごせていますか。	3.3	A	3.6	A
	保	学校は、熱意をもって、子供たちの教育に取り組んでいると思いますか。	3.6	A	3.5	A
	教	私は、教育公務員として勤務規律の保持徹底、「職場三原則」(礼を正す・時を守る・場を清める)を常に意識している。	3.0	B	3.4	A
考察・教職員の「職場三原則」の徹底が児童の基本的な生活習慣の構築に反映している。児童自ら学校生活を楽しくしようという意識が見られ、ポイントが上回っている。						
2 業務改善・教職員の 働き方改革の推進	児					
	保					
	教	私は、「自分の働き方を変えていく」という意識を持ち、時間外勤務を減らし、児童と向き合う時間を増やせるよう努力している。	3.0	B	3.2	A
考察・1学期に比べ、教職員がタイムマネジメントを意識し、児童と向き合う時間を増やそうと努力している姿が伺える。						
3 開かれた 学校づくり	児	地域の方との活動や行事に進んで参加していますか。	3.0	B	3.0	B
	保	学校は、積極的に情報を提供し、PTA行事や授業参観、教育講演会など、家庭や地域と連携しながら、子供たちの教育活動を充実させていると思いますか。	3.6	A	3.6	A
	教	私は、学級通信や連絡帳等で、学習の様子や学校生活の様子を適宜保護者に知らせ、体験活動等で地域・保護者の連携・協力を進めている。	3.0	B	3.2	A
考察・保護者のポイントは変わらないが、保護者が学校教育に関心をもち、学校行事に参加してみようという意識は以前よりも高まっているように感じる。						
4 学力の向上	児	授業中、自分の考えを友だちに伝えたり、話し合いに進んで参加したりしていますか。	3.2	A	3.2	A
	保	学校は、子供たちの学力向上に対して努力していると思いますか。	3.4	A	3.3	A
	教	私は、子供たちの思考力や表現力を育てるための手立てを校内研や日頃の授業の中に取り入れている。	3.1	B	3.2	A
考察・学力向上推進校として、授業研究会を通して、教職員の授業改善や学級づくりに意識向上が見られる。						
5 学力の向上 (家庭学習)	児	家で、めあての時間を決めて家庭学習をしていますか。	3.0	B	2.8	B
	保	お子さんが進んで家庭学習に取り組めるよう、言葉かけや環境づくり、確認などをしていますか。	3.1	B	3.2	A
	教	私は、「家での学び5つのポイント」を活用するなどして、家庭学習・家読の習慣化を目指し、児童への指導や家庭との連携・啓発を行っている。	2.9	B	3.1	B
考察・教職員や保護者の家庭学習に対する意識の高まりは見られるものの肝心な児童の家庭学習の習慣化が身についていない。大きな課題と言える。						
6 志を高める教育	児	自分が決めた目標に向かって、最後まであきらめないで努力していますか。	3.2	A	3.3	A
	保	学校では、子供たちに夢や希望を持たせるよう認めたり励ましたりしていると思いますか。	3.3	A	3.2	A
	教	私は、児童に自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動に取り組んでいる。	2.9	B	3.1	B
考察・自分の決めた目標や夢に向かって、あきらめずに努力をする姿勢は少しずつはあるが身につけてきている。						
7 心の教育 「基本的な生活習慣」	児	友だちや先生、おうちの人、地域の知っている人に進んであいさつをしていますか。	3.6	A	3.6	A
	保	学校は、基本的な生活習慣の指導(あいさつ、返事、掃除、整理整頓)に努めていると思いますか。	3.5	A	3.3	A
	教	私は、しつけ3原則「あいさつ・返事」「掃除さしすせせ」「はきものそろえ」の3項目を指導・評価している。	3.2	A	3.2	A
考察・基本的な生活習慣の指導(あいさつなど)は、概ね徹底してきた。これが学校を離れた地域や家庭でもしぜんと身につけていくことを期待している。						
8 いじめ問題 への対応	児	友だちに思いやりの気持ちをもってやさしくしていますか。	3.2	A	3.3	A
	保	学校は、子供たちに命の大切さを意識させ、思いやりの心を育てていると思いますか。	3.4	A	3.3	A
	教	私はいじめなどの問題行動を未然防止するために、Q-Uの結果などを活用し、自他を大切にすることを思いやりの気持ちを育むことに努めている。	3.1	B	3.2	A
考察・「なかよし集会」「Q-U検査」の取組等を通して、学校全体で人権意識の高揚に努めてきた。教職員のいじめアンケートによる未然防止や児童観察が功を奏し、大きな問題も生じなかった。						
9 健康・体づくり	児	外で体を動かしていますか。	3.3	A	3.5	A
	保	学校は、子供たち健康に留意し、体力向上ができるよう指導していると思いますか。	3.3	A	3.3	A
	教	私は、子どもたちの体力が向上できるように、授業を工夫したり、児童が外遊びや体を動かすことができる手立てをとったりしている。	2.5	B	3.0	B
考察・教職員の評定がBではあるが、体力向上のための授業の工夫や手立てをよく考えていた。来年度は、県が推奨しているスポーツチャレンジにエントリーされることを目標に取り組みしていきたい。						
10 健康・体づくり (食育の充実)	児	好き嫌いをせず、感謝の気持ちをもって食事をしていますか。	3.3	A	3.5	A
	保	給食は、子供たちの栄養バランスに気を配ったメニューになっていると思いますか。	3.6	A	3.6	A
	教	私は、児童の健康状態や朝食の実態を把握し、健康や食事について個別の指導や保護者への連絡を行っている。	2.9	B	3.1	B
考察・「生きる」基本である「食」について、学校では、感謝の気持ちやマナーについて学校全体で指導を行っている。						

年間を通して、児童・保護者・教師の意識の高まりを1学期(7月調査)と3学期(1月調査)の比較から検証してみると、全体的にポイントが上がっている。評定がBの項目も、ポイントを見ると1学期よりも上がっているのが、少しずつではあるが努力していることがうかがえる。ただ、学力向上(家庭学習)の項目は、児童が2.8と下がっており、家庭学習の取組を保護者への協力を呼び掛けて根気強く取り組んでいかなければいけないという大きな課題がある。